



平成29年11月30日

各位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新
(コード番号)	5852)
問合せ先責任者	経営企画部長 成家 秀樹
(TEL)	03-6369-8664)

(訂正・数値データ訂正) 「平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成29年11月8日付で公表しました「平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容につきましては、本日付で公表しました「第97期 第2四半期報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」、理由につきましては、平成29年11月13日付で公表しました「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明のお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所は、四半期連結財務諸表中の法人税等調整額の訂正とそれに伴う繰延税金資産又は繰延税金負債の訂正であり、付随する各項目であります。

訂正の箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を添付しております。

以 上

(訂正後)



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 新一 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	70,631	5.5	1,732	△47.9	1,578	△44.8	1,255	△39.6
29年3月期第2四半期	66,976	△7.2	3,326	82.9	2,857	131.2	2,080	508.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,296百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △4,515百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	48.56	48.08
29年3月期第2四半期	80.48	79.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	134,597	63,074	46.7
29年3月期	135,044	62,053	45.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 62,887百万円 29年3月期 61,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,700	5.9	4,100	△40.7	3,850	△38.5	2,050	△55.6	79.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	26,027,720株	29年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	160,115株	29年3月期	182,502株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	25,858,234株	29年3月期2Q	25,845,981株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しの動きがみられ、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いております。アメリカでは景気は着実に回復が続いており、アジアでは中国の各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きがみられ、インドでは内需を中心に景気が緩やかに回復していることなど、世界の景気は緩やかに回復しております。

こうした環境の中で、当社グループ全体の売上高は日本、アジアを中心とした受注量の増加により増収となる一方で、利益面については、アジアの好調な受注増が増益効果をもたらしているものの、日本、米国セグメントの減益により連結全体では減益となりました。当社グループでは昨年度よりスタートした1618中期経営計画に基づく施策展開を着実に進めるとともに、生産性や収益性の改善に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高70,631百万円(前年同四半期比5.5%増)、営業利益1,732百万円(前年同四半期比47.9%減)、経常利益1,578百万円(前年同四半期比44.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,255百万円(前年同四半期比39.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおける前年の熊本地震による生産減の反動や北米市場向け輸出の好調を受け、当社の受注量が増加しました。受注量増に加えアルミ地金市況上昇により売上高は33,097百万円(前年同四半期比10.5%増)となりました。収益面においては、受注量増加の一方で、主に栃木工場での製造コスト削減が販売価格低下に比べ小幅にとどまったこと等の影響により、セグメント利益は430百万円(前年同四半期比61.6%減)となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場は、主要顧客である自動車メーカーにおいて、ここ数年続いた好調な販売に減速感が生じています。米国ではこの市場の減速に加えダウンサイジングによる受注量減少のなかで、生産性の改善活動の遅れが減益要因となっています。一方のメキシコでは、主要顧客からの受注量増加が売上、利益に寄与する一方で、ペソ高ドル安による労働者分配金(PTU)が増加しています。こうした結果、北米セグメントでの売上高は20,470百万円(前年同四半期比2.9%減)、セグメント利益は214百万円(前年同四半期比84.3%減)となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、減税幅の縮小により小型乗用車の販売には鈍化が見られますが、一方でSUVの販売が拡大しており、当社においても関係する部品の受注量は好調に推移しております。またインドでは、自動車市場が好調を維持している中で、当社の受注量も増加しました。こうした好調な受注増の影響を受け、アジアでの売上高は13,920百万円(前年同四半期比9.9%増)となりました。収益面では中国、インドにおける売上高増加及び原価低減活動等により、セグメント利益は828百万円(前年同四半期比43.4%増)となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、販売量は前年同四半期と比べ増加するとともに地金市況の上昇を受け、売上高は2,182百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。収益面においては原価低減活動を推進しておりますが、燃料費上昇等の影響によりセグメント利益は115百万円(前年同四半期比21.8%減)となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が減少し、売上高は961百万円(前年同四半期比15.6%減)となりました。収益面においては、原価低減活動等の影響により、セグメント利益は143百万円(前年同四半期比109.3%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ446百万円減少して134,597百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少895百万円、円高基調にある為替換算影響等による有形固定資産の減少909百万円、保有株式の株価上昇による投資有価証券の増加1,005百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,467百万円減少して71,522百万円となりました。主な要因は、借入金の減少3,188百万円、仕入債務の増加890百万円、未払法人税の増加430百万円、賞与引当金の増加494百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,020百万円増加して63,074百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益等による利益剰余金の増加924百万円、その他有価証券評価差額金の増加688百万円、円高による為替換算調整勘定の減少675百万円によるものであります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末45.8%から46.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、平成29年10月25日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,100	3,204
受取手形及び売掛金	23,015	22,313
電子記録債権	2,158	2,318
商品及び製品	2,801	2,979
仕掛品	3,994	3,606
原材料及び貯蔵品	3,344	3,463
その他	2,862	3,450
貸倒引当金	△1	△12
流動資産合計	42,275	41,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,455	14,959
機械装置及び運搬具（純額）	45,480	44,389
土地	5,199	5,202
建設仮勘定	8,051	8,021
その他（純額）	7,960	8,664
有形固定資産合計	82,146	81,237
無形固定資産	1,535	1,663
投資その他の資産		
投資有価証券	7,363	8,369
その他	1,722	2,027
貸倒引当金	△0	△25
投資その他の資産合計	9,086	10,371
固定資産合計	92,768	93,272
資産合計	135,044	134,597
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,903	13,347
電子記録債務	6,601	7,049
短期借入金	837	443
1年内返済予定の長期借入金	10,608	10,596
未払法人税等	899	1,330
賞与引当金	1,644	2,139
役員賞与引当金	30	—
製品保証引当金	73	136
その他	8,277	8,723
流動負債合計	41,877	43,766
固定負債		
長期借入金	21,359	18,577
長期未払金	1,066	1,031
退職給付に係る負債	2,919	2,930
その他	5,767	5,216
固定負債合計	31,112	27,756
負債合計	72,990	71,522

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	<u>37,463</u>	<u>38,388</u>
自己株式	△272	△238
株主資本合計	<u>54,311</u>	<u>55,269</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,728	4,417
為替換算調整勘定	<u>4,327</u>	<u>3,651</u>
退職給付に係る調整累計額	△479	△451
その他の包括利益累計額合計	<u>7,576</u>	<u>7,617</u>
新株予約権	165	187
純資産合計	<u>62,053</u>	<u>63,074</u>
負債純資産合計	<u>135,044</u>	<u>134,597</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	66,976	70,631
売上原価	58,230	62,951
売上総利益	8,745	7,680
販売費及び一般管理費	5,419	5,947
営業利益	3,326	1,732
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	86	89
為替差益	—	3
スクラップ売却益	73	57
その他	105	60
営業外収益合計	279	223
営業外費用		
支払利息	473	339
為替差損	225	—
その他	49	37
営業外費用合計	748	377
経常利益	2,857	1,578
特別利益		
固定資産売却益	3	6
補助金収入	49	7
保険差益	—	51
特別利益合計	53	65
特別損失		
固定資産除売却損	61	66
減損損失	23	—
特別退職金	—	55
製品保証費用	—	65
特別損失合計	84	187
税金等調整前四半期純利益	2,826	1,456
法人税、住民税及び事業税	802	1,335
法人税等調整額	<u>△56</u>	<u>△1,134</u>
法人税等合計	<u>746</u>	<u>200</u>
四半期純利益	<u>2,080</u>	<u>1,255</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>2,080</u>	<u>1,255</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	2,080	1,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	688
為替換算調整勘定	△6,547	△675
退職給付に係る調整額	35	28
その他の包括利益合計	△6,595	40
四半期包括利益	△4,515	1,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,515	1,296
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,826	1,456
減価償却費	6,876	7,358
減損損失	23	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△102	502
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△14	63
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	85	49
受取利息及び受取配当金	△101	△101
支払利息	473	339
有形固定資産除売却損益 (△は益)	57	58
補助金収入	△49	△7
保険差益	—	△51
特別退職金	—	55
売上債権の増減額 (△は増加)	3,175	369
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△447	62
仕入債務の増減額 (△は減少)	199	972
未払金の増減額 (△は減少)	18	136
未払消費税等の増減額 (△は減少)	343	153
その他	373	369
小計	13,738	11,786
利息及び配当金の受取額	101	101
利息の支払額	△467	△344
法人税等の支払額	△655	△1,053
法人税等の還付額	314	18
補助金の受取額	45	3
保険金の受取額	—	51
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,075	10,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,691	△8,088
有形固定資産の売却による収入	3	92
その他	△119	△273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,808	△8,270
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,716	2,893
短期借入金の返済による支出	△12,786	△3,276
長期借入れによる収入	1,969	3,200
長期借入金の返済による支出	△5,563	△5,443
配当金の支払額	△206	△309
その他	△114	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,985	△3,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	△534	△137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	747	△895
現金及び現金同等物の期首残高	4,505	4,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,253	3,204

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	29,940	21,091	12,663	2,143	1,138	66,976
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,661	4	900	1,914	—	4,481
計	31,601	21,095	13,564	4,058	1,138	71,458
セグメント利益	1,121	1,363	577	148	68	3,280

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,280
セグメント間取引消去	46
四半期連結損益計算書の営業利益	3,326

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ダイカスト事業 日本」において処分予定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において23百万円です。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	33,097	20,470	13,920	2,182	961	70,631
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,178	1	805	2,235	7	5,228
計	35,275	20,472	14,725	4,417	968	75,859
セグメント利益	430	214	828	115	143	1,733

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,733
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,732

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。